逆紹介率【一般】= 逆紹介患者数 / 初診患者数

逆紹介率【一般】 とは	検査が終わった患者さんや、治療が一段落したり、治療方法が定まった患者さんは患者さんの利便性等を考慮し、かかりつけ医への紹介（逆紹介といいます）を行っています。逆紹介患者数と初診患者数の割合を表しています。
指標の説明	自治体病院は地域の医療機関との役割分担で地域住民の健康を担っています。かかりつけ医との連携関係が強いと率は高くなります。 初診患者数が多いと率は低くなります。もともと、地域医療機関が少ない（島しょ部や過疎地域）と診療所などへの逆紹介が困難となります。地域医療を病院がかかりつけ医として直接担っているためです。 より高い値を目指しています。